

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In the application of:

Tomoko MARUYAMA et al.

Serial No.: New Application

Filing Date: January 28, 2004

For: NETWORK SCANNER DEVICE FOR  
TRANSMITTING IMAGE DATA  
THROUGH NETWORKS AND IMAGE  
DATA TRANSMITTING METHOD  
THEREOF

Examiner: Not Yet Assigned

Group Art Unit: Not Yet Assigned

**SUBMISSION OF CERTIFIED FOREIGN PRIORITY DOCUMENT**

Commissioner for Patents  
P.O. Box 1450  
Alexandria, Virginia 22313-1450

Sir:

Under the provisions of 35 USC 119, Applicant hereby claims the benefit of the filing of Japanese patent application No. 2003-018773, filed January 28, 2003.

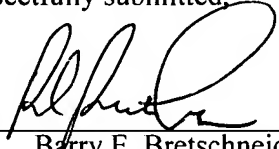
The certified priority documents are attached to perfect Applicant's claim for priority.

It is respectfully requested that the receipt of the certified copy attached hereto be acknowledged in this application.

In the event that the transmittal letter is separated from this document and the Patent and Trademark Office determines that an extension and/or other relief is required, applicants petition for any required relief including extensions of time and authorizes the Commissioner to charge the cost of such petitions and/or other fees due in connection with the filing of this document to Deposit Account No. 03-1952 referencing 204552031700.

Dated: January 28, 2004

Respectfully submitted,

By:   
Barry E. Bretschneider  
Registration No. 28,055

Morrison & Foerster LLP  
1650 Tysons Boulevard, Suite 300  
McLean, Virginia 22102  
Telephone: (703) 760-7743  
Facsimile: (703) 760-7777

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2003年 1月28日

出 願 番 号

Application Number:

特願2003-018773

[ST.10/C]:

[JP2003-018773]

出 願 人

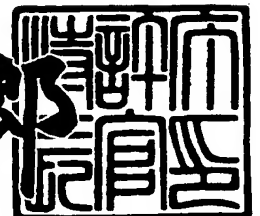
Applicant(s):

ミノルタ株式会社

2003年 2月14日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3007571

【書類名】 特許願

【整理番号】 186529

【提出日】 平成15年 1月28日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 1/00  
H04L 29/00

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号大阪国際ビル ミノルタ株式会社内

【氏名】 丸山 倫子

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号大阪国際ビル ミノルタ株式会社内

【氏名】 永田 浩一

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号大阪国際ビル ミノルタ株式会社内

【氏名】 山内 香奈

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号大阪国際ビル ミノルタ株式会社内

【氏名】 前川 徹

【特許出願人】

【識別番号】 000006079

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号大阪国際ビル

【氏名又は名称】 ミノルタ株式会社

【代理人】

【識別番号】 100062144

【弁理士】

【氏名又は名称】 青山 葆

【選任した代理人】

【識別番号】 100086405

【弁理士】

【氏名又は名称】 河宮 治

【選任した代理人】

【識別番号】 100084146

【弁理士】

【氏名又は名称】 山崎 宏

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 013262

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0113154

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ネットワークスキャナ装置およびその画像データ送信方法

【特許請求の範囲】

【請求項1】 画像データをネットワークを介して送信するネットワークスキャナ装置であって、

原稿をスキャンして画像データを得る読取部と、

上記画像データを送信すべき受信者アドレスを設定する第1設定手段と、

この装置を特定する送信元アドレスに代えて送信者を表す送信者アドレスを設定する第2設定手段と、

上記画像データを、上記第2設定手段によって設定された送信者アドレスを付加して、上記第1設定手段によって設定された受信者アドレスへ向けて送信する制御を行う送信制御手段とを備えたことを特徴とするネットワークスキャナ装置

。

【請求項2】 請求項1に記載のネットワークスキャナ装置において、

上記受信者アドレスと送信者アドレスとを同時に設定するワンタッチ設定手段を備えたことを特徴とするネットワークスキャナ装置。

【請求項3】 請求項1に記載のネットワークスキャナ装置において、

送信者アドレス夫々に対応した受信者アドレスの候補を記憶する記憶部を備え

送信者アドレスが設定されたとき、その送信者アドレスに対応した受信者アドレスの候補の中から受信者アドレスを選択するようになっていることを特徴とするネットワークスキャナ装置。

【請求項4】 請求項1に記載のネットワークスキャナ装置において、

使用者を表すIDに対応した送信者アドレスを記憶する記憶部を備え、

入力されたIDに応じて送信者アドレスが自動的に設定されるようになっていることを特徴とするネットワークスキャナ装置。

【請求項5】 画像データを電子メールに添付してネットワークを介して送信するネットワークスキャナ装置の画像データ送信方法であって、

原稿をスキャンして画像データを得るステップと、

上記画像データを送信すべき受信者アドレスを設定するステップと、

上記装置を特定する送信元アドレスに代えて送信者を表す送信者アドレスを設定するステップと、

上記画像データを、上記設定された送信者アドレスを付加して、上記設定された受信者アドレスへ向けてネットワークを介して送信するステップとを有する画像データ送信方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明はネットワークスキャナ装置に関し、より詳しくは、原稿をスキャンして読み取り、得られた画像データをネットワークを介して送信するネットワークスキャナ装置に関する。

【0002】

この明細書において「ネットワークスキャナ装置」は、プリンタ機能、ファクシミリ機能などの他の機能を有するMFP（多機能周辺機器）を含む概念を意味する。

【0003】

また、この発明は、そのようなネットワークスキャナ装置によって画像データをネットワークを介して送信する画像データ送信方法に関する。

【0004】

【従来の技術および発明が解決しようとする課題】

この種のネットワークスキャナ装置は、ネットワーク上で自機を特定するためのアドレス（これを「送信元アドレス」と呼ぶ。）を有している。そして、読取部で得た画像データを電子メールに添付してネットワークを介して送信（これを適宜「画像データ送信」という。）するとき、その送信元アドレスを電子メールに付加するようになっている。

【0005】

ネットワークに接続された自己の端末（パーソナルコンピュータなど）でその電子メールを受け取った受信者は、その付加された送信元アドレスに基づいて、

上記電子メール（画像データ）の送信元を知ることができる。さらに、受信者が自己の端末でメールソフト（アプリケーションプログラム）を起動して返信機能を指示した場合、その送信元アドレスは上記電子メールに対する返信メールの宛先として利用される。あるいは、ネットワークスキャナ装置から受信者側サーバへの送信経路で何らかの障害があった場合、その送信元アドレスは受信者側サーバからのエラーメールの宛先として利用される。

【0006】

ところで、ネットワークスキャナ装置は、会社やオフィスなどに設置されて、入れ替わり立ち替わり複数の人によって使用（操作）されることが多い。ネットワークスキャナ装置を使って画像データ送信の操作をした人（送信者）は、操作が終わると、ネットワークスキャナ装置の設置場所を離れて、自己の机のところに戻る。

【0007】

このため、送信者は、上述のようにネットワークスキャナ装置の送信元アドレスに対して返信メールやエラーメールが返ってきても、それを利用しにくいという問題がある。この結果、送信者は、上記画像データ送信とは別ルートで、自分が返信を希望するメールアドレス（送信者が利用しやすいメールアドレス）を受信者へ通知して、そのメールアドレスに返信メールを受けているのが実情である。

【0008】

なお、例えばネットワークファクシミリ装置において、自機を示す複数のメールアドレスを記憶部に登録できるものが知られているが（例えば、特許文献1参照。）、上記複数のメールアドレスのうちどのメールアドレスに返信メールが返ってきても、上述の問題が生じる。

【0009】

【特許文献1】

特開2002-135505号公報（第1頁、要約書）

【0010】

そこで、この発明の課題は、画像データ送信の操作をした人が、それに対する



返信メールやエラーメールを容易に利用できるようなネットワークスキャナ装置およびその画像データ送信方法を提供することにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するため、請求項1に記載のネットワークスキャナ装置は、画像データをネットワークを介して送信するネットワークスキャナ装置であって、  
原稿をスキャンして画像データを得る読取部と、

上記画像データを送信すべき受信者アドレスを設定する第1設定手段と、

この装置を特定する送信元アドレスに代えて送信者を表す送信者アドレスを設定する第2設定手段と、

上記画像データを、上記第2設定手段によって設定された送信者アドレスを付加して、上記第1設定手段によって設定された受信者アドレスへ向けて送信する制御を行う送信制御手段とを備えたことを特徴とする。

【0012】

この請求項1のネットワークスキャナ装置では、読取部が原稿をスキャンして画像データを得る。第1設定手段が上記画像データを送信すべき受信者アドレスを設定する。第2設定手段が、この装置を特定する送信元アドレスに代えて送信者を表す送信者アドレスを設定する。そして、送信制御手段が、上記画像データを、上記第2設定手段によって設定された送信者アドレスを付加して、上記第1設定手段によって設定された受信者アドレスへ向けて送信する制御を行う。これにより、上記画像データは電子メールに添付されてネットワークを介して送信される。

【0013】

ここで、送信者は、上記第2設定手段が設定する送信者アドレスとして、自分が返信を希望するメールアドレス（送信者が利用しやすいメールアドレス）を指定することができる。そのようにした場合、ネットワークに接続された自己の端末（パーソナルコンピュータなど）で上記電子メールを受け取った受信者は、その付加された送信者アドレスに基づいて、上記電子メール（画像データ）の送信者を知ることができる。さらに、受信者が自己の端末でメールソフト（アプリケ

ーションプログラム) を起動して返信機能を指示した場合、その送信者アドレスは上記電子メールに対する返信メールの宛先として利用される。あるいは、ネットワークスキャナ装置から受信者側サーバへの送信経路で何らかの障害があった場合、その送信者アドレスは受信者側サーバからのエラーメールの宛先として利用される。これらの送信者アドレスは、画像データ送信の操作をした人(送信者)が返信を希望したアドレスである。したがって、その送信者アドレスに対して返信メールやエラーメールが返ってきたとき、送信者は、それらの返信メールやエラーメールを容易に利用できる。

## 【 0 0 1 4 】

なお、受信者アドレスや送信者アドレスは、画像データ送信の操作に先立って予めこの装置(の記憶部)に登録されていても良いし、画像データ送信の操作に際して送信者によって入力されても良い。

## 【 0 0 1 5 】

また、読取部が原稿をスキャンして画像データを得る処理と、上記第1設定手段が画像データを送信すべき受信者アドレスを設定する処理と、上記第2設定手段がこの装置を特定する送信元アドレスに代えて送信者を表す送信者アドレスを設定する処理とは、任意に順序を入れ替えても良い。

## 【 0 0 1 6 】

請求項2に記載のネットワークスキャナ装置は、請求項1に記載のネットワークスキャナ装置において、上記受信者アドレスと送信者アドレスとを同時に設定するワンタッチ設定手段を備えたことを特徴とする。

## 【 0 0 1 7 】

この請求項2のネットワークスキャナ装置では、ワンタッチ設定手段が上記受信者アドレスと送信者アドレスとを同時に設定する。したがって、上記受信者アドレスと送信者アドレスとを迅速に設定でき、ユーザ(送信者を含む)の利便性が高まる。

## 【 0 0 1 8 】

なお、ワンタッチ設定手段は上述の設定を、送信者の指示に応じて行うのが望ましい。これにより、送信者は、自分が希望する受信者アドレスや送信者アドレ

スを迅速に指定することができる。

【0019】

また、受信者アドレスと送信者アドレスとを同時に画面上に表示し得る表示部を備えるのが望ましい。送信者は、表示部の画面上に同時に表示された受信者アドレスと送信者アドレスを見て、自分が希望するものであるか否かを容易に確認することができる。したがって、さらに、ユーザの利便性が高まる。

【0020】

請求項3に記載のネットワークスキャナ装置は、請求項1に記載のネットワークスキャナ装置において、送信者アドレス夫々に対応した受信者アドレスの候補を記憶する記憶部を備え、送信者アドレスが設定されたとき、その送信者アドレスに対応した受信者アドレスの候補の中から受信者アドレスを選択するようになっていることを特徴とする。

【0021】

この請求項3のネットワークスキャナ装置では、画像データ送信の操作に先立って、予め記憶部に、送信者アドレス夫々に対応した受信者アドレスの候補を記憶させておく。そのようにしておけば、送信者アドレスに対応付けて受信者アドレスの候補をリストにして表示することができる。したがって、操作者（送信者）は、画像データ送信の操作に際して受信者アドレスをいちいち入力しなくても、上記候補の中から受信者アドレスを選択するだけで済む。したがって、さらに、ユーザの利便性が高まる。

【0022】

請求項4に記載のネットワークスキャナ装置は、請求項1に記載のネットワークスキャナ装置において、使用者を表すIDに対応した送信者アドレスを記憶する記憶部を備え、入力されたIDに応じて送信者アドレスが自動的に設定されるようになっていることを特徴とする。

【0023】

「ID」とは、使用者を識別するための番号、符号などを指す。なお、使用者とは、操作者や送信者を含む広い概念である。

【0024】

この請求項4のネットワークスキャナ装置では、画像データ送信の操作に先立って、予め記憶部に、使用者を表すIDに対応した送信者アドレスを記憶させておく。そのようにしておけば、操作者（送信者）が例えばこの装置の動作開始条件としてIDを入力したとき、入力されたIDに応じてその送信者アドレスを呼び出すことができる。したがって、操作者は、画像データ送信の操作に際して送信者アドレスをいちいち入力しなくても済む。したがって、さらに、ユーザの利便性が高まる。

## 【0025】

請求項5に記載の画像データ送信方法は、画像データを電子メールに添付してネットワークを介して送信するネットワークスキャナ装置の画像データ送信方法であって、

原稿をスキャンして画像データを得るステップと、

上記画像データを送信すべき受信者アドレスを設定するステップと、

上記装置を特定する送信元アドレスに代えて送信者を表す送信者アドレスを設定するステップと、

上記画像データを、上記設定された送信者アドレスを付加して、上記設定された受信者アドレスへ向けてネットワークを介して送信するステップとを有する画像データ送信方法。

## 【0026】

この請求項5の画像データ送信方法では、ネットワークスキャナ装置によって、次のようにして、画像データを電子メールに添付してネットワークを介して送信する。すなわち、原稿をスキャンして画像データを得る。上記画像データを送信すべき受信者アドレスを設定する。また、この装置を特定する送信元アドレスに代えて送信者を表す送信者アドレスを設定する。そして、上記画像データを、上記第2設定手段によって設定された送信者アドレスを付加して、上記第1設定手段によって設定された受信者アドレスへ向けて送信する制御を行う。これにより、上記画像データは電子メールに添付されてネットワークを介して送信される。

## 【0027】

ここで、送信者は、上記送信者アドレスとして、自分が返信を希望するメールアドレス（送信者が利用しやすいメールアドレス）を指定することができる。そのようにした場合、ネットワークに接続された自己の端末（パーソナルコンピュータなど）で上記電子メールを受け取った受信者は、その付加された送信者アドレスに基づいて、上記電子メール（画像データ）の送信者を知ることができる。さらに、受信者が自己の端末でメールソフト（アプリケーションプログラム）を起動して返信機能を指示した場合、その送信者アドレスは上記電子メールに対する返信メールの宛先として利用される。あるいは、ネットワークスキャナ装置から受信者側サーバへの送信経路で何らかの障害があった場合、その送信者アドレスは受信者側サーバからのエラーメールの宛先として利用される。これらの送信者アドレスは、画像データ送信の操作をした人（送信者）が返信を希望したアドレスである。したがって、その送信者アドレスに対して返信メールやエラーメールが返ってきたとき、送信者は、それらの返信メールやエラーメールを容易に利用できる。

## 【 0 0 2 8 】

なお、実際に画像データを送信するステップ以前の3つのステップは、任意に順序を入れ替えても良い。つまり、原稿をスキャンして画像データを取得のステップと、上記画像データを送信すべき受信者アドレスを設定するステップと、上記装置を特定する送信元アドレスに代えて送信者を表す送信者アドレスを設定するステップとは、任意に順序を入れ替えても良い。

## 【 0 0 2 9 】

## 【発明の実施の形態】

以下、この発明を図示の実施の形態により詳細に説明する。

## 【 0 0 3 0 】

図1は本発明の一実施形態のネットワークスキャナ装置（以下、単に「スキャナ装置」という。）1の外観を示している。このスキャナ装置1は、原稿をスキャンして画像データを光学的に読み取り、得られた画像データを電子メールに添付してネットワークを介して送信するのに用いられる。本体10の上部には、トレイ上に載置された原稿を1枚ずつ取り込んで搬送する自動原稿搬送部（ADF

） 1 1 が設けられている。また、本体 1 0 の上部前面には、操作者がこの装置に対して各種入力を行うための操作パネル 1 2 が設けられている。

【 0 0 3 1 】

図 2 は、このスキャナ装置 1 の制御系のブロック構成を示している。このスキャナ装置 1 は、この装置全体を制御する主制御部 2 1 と、この主制御部 2 1 に接続された操作／表示部 2 2、記憶部 2 3、読取部 2 4、画像メモリ 2 5 および通信部 2 6 を備えている。

【 0 0 3 2 】

操作／表示部 2 2 は、操作パネル 1 2 のディスプレイ部に種々の表示を行うと共に、操作パネル 1 2 を通して操作者からの指示・データなどを入力する処理を行う。

【 0 0 3 3 】

記憶部 2 3 は、このスキャナ装置 1 の設定、通信記録などを記憶する。

【 0 0 3 4 】

読取部 2 4 は、ADF 1 1 によって搬送される原稿を光学的に読み取って、その原稿の画像データを得る。なお、図示しないガラス板上に手動で原稿が載置されたときは、それをスキャンして読み取ることもできる。

【 0 0 3 5 】

画像メモリ 2 5 は、読取部 2 4 によって得られた画像データを圧縮して、蓄積する。

【 0 0 3 6 】

通信部 2 6 は、このスキャナ装置 1 とネットワークとのインターフェイスを行う。

【 0 0 3 7 】

図 4 は操作パネル 1 2 の構成を具体的に示している。この操作パネル 1 2 は、略中央上部に種々の表示を行うためのディスプレイ部 4 5 を備えている。さらに、送信者登録キー 4 8 と、番号 0 1 から 1 8 までの 1 8 個のワンタッチ送信キー 4 4 と、4 個のカーソルキー（左キー、右キー、下キー、上キー）4 3 と、6 個の送信者呼出キー 4 2 と、確定キー 4 6 と、クリアキー 4 7 と、文字入力キー 4

0と、スタートキー41と、ストップキー50と、リセットキー51と、IDキー49とを備えている。なお、文字入力キー40はテンキーの態様で図示されているが、一般的な携帯電話のメール機能での入力と同様の方法で、この文字入力キー40を用いてアルファベット／漢字が入力できるようになっている。

## 【0038】

図3は、このスキャナ装置1が設置されたネットワーク環境を示している。この例では、インターネットまたはイントラネット5を介してLAN（ローカル・エリア・ネットワーク）4とLAN6とが接続されている。LAN4には、スキャナ装置1と、クライアントPC（パーソナル・コンピュータ）2と、このLAN4と外部との間のメールを取り扱うメールサーバ3とが接続されている。LAN6には、インターネットファクス装置7と、クライアントPC8と、このLAN6と外部との間のメールを取り扱うメールサーバ9とが接続されている。

## 【0039】

例えば、LAN4内のスキャナ装置1が画像データを電子メールに添付して、別のLAN6内のクライアントPC8を特定する受信者アドレスに対して送信する場合、画像データはスキャナ装置1から同じLAN4内のメールサーバ3へ一旦送られ（経路D1）、LAN4内のメールサーバ3からインターネット5を介してLAN6メールサーバ9へ送られ（経路D2）、このメールサーバ9から同じLAN6内のクライアントPC8へ送られる（経路D3）。

## 【0040】

スキャナ装置1は、従来のスキャナ装置と同様に、ネットワーク4、5、6上で自機を特定するためのアドレス、すなわち送信元アドレスを有している。そして、画像データを電子メールに添付してネットワーク4、5、6を介して受信者アドレスへ向けて送信するとき、その送信元アドレスを電子メールに付加するようになっている。さらに、このスキャナ装置1は、送信元アドレスに代えて送信者を表す送信者アドレスを設定する。そして、その送信者アドレスを電子メールに付加するようになっている。

## 【0041】

以下では、このスキャナ装置1の動作を、送信者アドレスなどの各種情報をこ

の装置の記憶部 23 に記憶させる（登録する）準備段階（1）と、操作者が実際に画像データ送信の操作を行う送信段階（2）とに分けて説明する。

#### 【0042】

##### （1）準備段階

送信者アドレスをこの装置の記憶部 23 に記憶させる（登録する）ためには、操作者は、図 4 に示した操作パネル 12 上の送信者登録キー 48 を押下する。すると、ディスプレイ部 45 に図 5 に示すような送信者登録画面が表示される。この送信者登録画面では、例えば「〇〇株式会社」というように送信者名を入力すべき「送信者名」欄と、「mfp@abc.def.com」というように送信者アドレスを入力すべき「メールアドレス」欄と、「from TOKYO」というようにメールのタイトルを入力すべき「メールタイトル」欄とが表示される。操作者は、図 4 に示した操作パネル 12 上の上キーまたは下キー 43 を押して入力すべき欄を選択し、文字入力キー 40 を押すことによって「送信者名」と「送信者アドレス」と「メールタイトル」とをそれぞれ入力することができる。この 3 つの対応付けられた情報の組を「送信者登録情報」と呼ぶ。

#### 【0043】

操作者が送信者登録情報を入力した後、続いて確定キー 46 を押せば、入力した送信者登録情報、つまり「送信者名」と「送信者アドレス」と「メールタイトル」とが互いに対応付けられた状態で、記憶部 23 に登録される。この例では、送信者登録情報は、6 組登録可能になっている。

#### 【0044】

なお、登録された各送信者登録情報は、送信段階で操作者がいずれかの送信者呼出キー 42 を押下することにより、図 6 に示すように呼び出し可能になっている。この図 6 の例では、例えば 1 組目の送信者登録情報が送信者名「MFP1」と送信者アドレス「mfp1@aaadef.com」とを含み、2 組目の送信者登録情報が送信者名「Suzuki」と送信者アドレス「Suzu@bbb.def.co.jp」とを含んでいる。この例では、操作者が 1 組目の送信者登録情報に対応する送信者呼出キー 42 を押下したことから、先ず送信者名「MFP1」が選択された状態（白黒反転した強調表示で示す）になっている。操作者は操作パネル 12 上の上キーまたは下キー



43を押すことにより、この図6に示す送信者選択画面内でいずれかの送信者登録情報を任意に選択することができる。なお、操作者がいずれかの送信者呼出キー42を押下したとき、直ちにその送信者呼出キー42に応じて図7に示すような送信設定が確定した画面（後述）を表示し、続いて操作者が操作パネル12上の上キーまたは下キー43を押下したときに、図6に示す送信者選択画面を表示しても良い。

## 【0045】

また、このスキャナ装置1では、上述の「送信者登録情報」に加えて、「受信者名」と「受信者アドレス」とを併せて登録可能になっている。すなわち、操作者が操作パネル12上の送信者登録キー48を押し、続いて各ワンタッチ送信キー44を押せば、ディスプレイ部45に図11に示すような宛先登録画面が表示される。この宛先登録画面では、例えば「〇〇（株）東京支店」というように受信者名を入力すべき「受信者名」欄と、「mfp@xyz.ffri.co.jp」というように受信者アドレスを入力すべき「受信者アドレス」欄と、「△△株式会社」というように送信者名を入力すべき「送信者名」欄と、「mfp@abc.wrq.com」というように送信者アドレスを入力すべき「送信者アドレス」欄と、「from MFP」というようにメールのタイトルを入力すべき「メールタイトル」欄とが表示される。操作者は、操作パネル12上の上キーまたは下キー43を押して入力すべき欄を選択し、文字入力キー40を押すことによって「受信者名」と「受信者アドレス」と「送信者名」と「送信者アドレス」と「メールタイトル」とをそれぞれ入力することができる。この5つの対応付けられた情報の組を「ワンタッチ登録情報」と呼ぶ。操作者は、この5つの対応付けられた情報を同時に見ながら入力できるので、その内容を容易に確認できる。したがって、ユーザの利便性が高まる。

## 【0046】

操作者がワンタッチ登録情報を入力した後、続いて確定キー46を押せば、入力したワンタッチ登録情報、つまり「受信者名」と「受信者アドレス」と「送信者名」と「送信者アドレス」と「メールタイトル」とが互いに対応付けられた状態で、記憶部23に登録される。この例では、ワンタッチ登録情報は、18組登録可能になっている。

【0047】

なお、この例では、各ワンタッチ送信キー44について「受信者アドレス」が未入力であれば、たとえ操作者がワンタッチ登録のために確定キー46を押したとしても、エラーが表示されて、ワンタッチ登録は行われない。

【0048】

## (2) 送信段階

操作者が実際に画像データ送信の操作を行う送信段階では、このスキャナ装置1は、主制御部21の制御によって、図12に示すようなフローにしたがって動作する。

【0049】

i) ADF11に原稿がセットされると、まず、いずれかのワンタッチ送信キー44が押下されたか否かを判断する(S1)。

【0050】

いずれかのワンタッチ送信キー44が押下されたときは(S1でYES)、そのワンタッチ送信キーについての「ワンタッチ登録情報」に「送信者アドレス」が含まれているか否かを判断する(S2)。

【0051】

ここで、そのワンタッチ送信キーについての「ワンタッチ登録情報」に「送信者アドレス」が含まれていなければ(S2でNO)、後述するステップS6へ進む。

【0052】

一方、そのワンタッチ送信キーについての「ワンタッチ登録情報」に「送信者アドレス」が含まれていれば(S2でYES)、ディスプレイ部45に「ワンタッチ登録情報」の内容を表示すると共に、直ちに読取部24が原稿をスキャンして画像データを得る(S3)。送信者は、ディスプレイ部45の画面上に表示された「ワンタッチ登録情報」の内容を見て、受信者アドレスや送信者アドレス等が、自分が希望するものであるか否かを容易に確認することができる。

【0053】

次に、主制御部21が第1設定手段として働いて、その「ワンタッチ登録情報

」に含まれた「受信者アドレス」を、その画像データを送信すべき受信者アドレスとして設定する。これとともに、主制御部21が第2設定手段として働いて、この装置1を特定する送信元アドレスに代えて、その「ワンタッチ登録情報」に含まれた「送信者アドレス」を、送信者を表す送信者アドレスとして設定する。そして、主制御部21が送信制御手段として働いて、上記画像データを、設定された送信者アドレスを付加して、設定された受信者アドレスへ向けて送信する制御を行う（S4）。この結果、上記画像データは、通信部26によってネットワーク4, 5, 6を介してその設定された受信者アドレスへ向けて送信される。

## 【0054】

このようにワンタッチ登録情報を利用した場合、受信者アドレスや送信者アドレスを迅速に設定でき、ユーザ（送信者を含む）の利便性を高めることができる。

## 【0055】

ii) ステップS1でワンタッチ送信キー44が押下されなかったときは（S1でNO）、操作者は操作パネル12を通して、画像データを送ろうとする宛先として受信者アドレスを入力する（S5）。この受信者アドレスは、操作者が文字入力キー40を押すことによって手動で入力する。入力を間違えた場合は、操作者がクリアキー47を押せば、入力をやり直すことができる。

## 【0056】

操作者が受信者アドレスを入力した後、続いて確定キー46を押せば、主制御部21が第1設定手段として働いて、その「受信者アドレス」を、その画像データを送信すべき受信者アドレスとして設定する。そして、次のステップS6へ進む。

## 【0057】

iii) ステップS6では、この装置1の記憶部23に記憶された「送信者登録情報」に「送信者アドレス」が含まれているか否かを判断する（S6）。

## 【0058】

ここで、「送信者登録情報」に「送信者アドレス」が含まれており（S6でYES）、クリアキー47も押下されなければ（S7でNO）、操作パネル12上

のディスプレイ部45に図6に示したような送信者選択画面を表示して、操作者にいずれかの送信者登録情報を選択することを促す(S10)。

## 【0059】

一方、「送信者登録情報」に「送信者アドレス」が含まれていなければ(S6でNO)、または、「送信者登録情報」に「送信者アドレス」が含まれていても(S6でYES)、クリアキー47が押下されたときは(S7でYES)、操作パネル12上のディスプレイ部45に図8に示すような送信設定画面を表示して、操作者に送信者アドレスを手動で入力することを促す(S8)。この送信設定画面では、例えば「150.150.1.100」というようにメールサーバアドレスを表す「SMTPサーバアドレス」欄と、「〇〇株式会社」というように送信者名を入力すべき「送信者名」欄と、送信者アドレスを入力すべき「メールアドレス」欄と、「納品案内」というようにメールのタイトルを入力すべき「メールタイトル」欄とが表示される。なお、図8の例では、「メールアドレス」欄が「mfp@abc\_」というように入力されつつある。

## 【0060】

上述のステップS10でいずれかの送信者登録情報が選択されて確定キー46が押下されたとき、または、ステップS8で「送信者アドレス」が手動で入力されて確定キー46が押下されたときは、主制御部21が第2設定手段として働いて、この装置1を特定する送信元アドレスに代えて、その確定された「送信者アドレス」を、送信者を表す送信者アドレスとして設定する。図7は、このようにして送信設定が確定したときの表示画面を例示している。

## 【0061】

iv) この後、操作者がスタートキー41を押下すると(S9)、読取部24が原稿をスキャンして画像データを得る(S3)。そして、主制御部21が送信制御手段として働いて、上記画像データを、設定された送信者アドレスを付加して、設定された受信者アドレスへ向けて送信する制御を行う(S4)。この結果、上記画像データは、通信部26によってネットワーク4, 5, 6を介してその設定された受信者アドレスへ向けて送信される。

## 【0062】

送信者は、上記ワンタッチ登録情報に含まれた「送信者アドレス」として又はステップS8、S10で入力若しくは選択する「送信者アドレス」として、自分が返信を希望するメールアドレス（送信者が利用しやすいメールアドレス）を指定することができる。そのようにした場合、ネットワーク4、5、6に接続された自己の端末で電子メール（画像データ）を受け取った受信者は、その付加された送信者アドレスに基づいて、上記電子メール（画像データ）の送信者を知ることができる。

## 【0063】

さらに、受信者が自己の端末でメールソフト（アプリケーションプログラム）を起動して返信機能を指示した場合、その送信者アドレスは上記電子メールに対する返信メールの宛先として利用される。例えば図14は、受信者が自己の端末でメールソフトを起動して、自己の受信履歴から、返信メールの宛先を選択するための画面を示している。この図14の例では、例えば1番目の受信履歴がスキャナ装置1からのものであり、送信者アドレスが「mfpl@aaa.bar.com」、その件名が「from MFP」となっている。このように、受信者側の端末では、スキャナ装置1を特定する送信元アドレスに代えて、送信者を表すアドレスとして送信者アドレスが表示されている。受信者が1番目の受信履歴を選択して「返信」キーを押せば、メールソフトが返信メールの宛先として自動的に「mfpl@aaa.bar.com」を設定する。この送信者アドレス「mfpl@aaa.bar.com」は、画像データ送信の操作をした人（送信者）が返信を希望したアドレスである。したがって、その送信者アドレス「mfpl@aaa.bar.com」に対して返信メールが返ってきたとき、送信者は、例えば自己のクライアントPCを使ってその返信メールを容易に開いて読むことができる。

## 【0064】

あるいは、例えば図13に示すように、スキャナ装置1から送信者アドレス「yamada@abc.jx.com」を付加して電子メール（画像データ）を送信した場合において、スキャナ装置1から受信者側サーバ9への送信経路D1、D2で何らかの障害があったとする。この場合、その送信者アドレス「yamada@abc.jx.com」は、受信者側サーバ9からのエラーメールの宛先として利用される。この送信者ア

ドレス「yamada@abc.jx.com」は、画像データ送信の操作をした人（送信者である山田氏）が返信を希望したアドレスであり、自己のクライアントPC101を特定するアドレスである。したがって、メールサーバ103を中継する経路D4、D5を介してその送信者アドレス「yamada@abc.jx.com」に対してエラーメールが返ってきたとき、送信者である山田氏は、そのエラーメールが返ってきたことを容易に知ることができる。そして、自己のクライアントPC101を使ってそのエラーメールを容易に開いて読むことができ、エラー対策を迅速にとることができる。なお、この例では、山田氏のクライアントPC101やメールサーバ103が属するドメイン104は、送信元のスキャナ装置1や受信者のクライアントPCが属するドメイン4、6とは異なっている。

## 【0065】

なお、図10に示すように、このスキャナ装置1の動作開始条件として、ディスプレイ部45に例えば「アクセスIDを入力してください」というように表示して、使用者を表すIDの入力を促し、入力されたIDと送信者アドレスとを対応付けて、画像データ送信の操作に先立って、予め記憶部23に記憶させても良い。そのようにしておけば、操作者（送信者）が例えばこのスキャナ装置1の動作開始条件としてIDを入力したとき、入力されたIDに応じて図9に示すような送信設定画面を直ちに呼び出すことができる。したがって、操作者は、画像データ送信の操作に際して送信者アドレスをいちいち入力しなくても済む。したがって、さらに、ユーザの利便性が高まる。

## 【0066】

また、画像データ送信の操作に先立って、予め記憶部23に、送信者アドレス夫々に対応した受信者アドレスの候補を記憶させておく。そのようにしておけば、送信者アドレスに対応付けて受信者アドレスの候補をリストにして表示することができる。したがって、操作者（送信者）は、画像データ送信の操作に際して受信者アドレスをいちいち入力しなくても、上記候補の中から受信者アドレスを選択するだけで済む。したがって、さらに、ユーザの利便性が高まる。

## 【0067】

なお、送信者アドレスなどの各種情報をこの装置の記憶部23に記憶させたり

、入力若しくは選択したりする操作は、このスキャナ装置 1 の操作パネル 12 を介して行われるだけでなく、ネットワーク 4, 5, 6 を介して遠隔の端末からも行われる。

【0068】

また、実際の送信 (S4) 前の処理は、適宜順序を入れ替えることができる。すなわち、読取部 24 が原稿をスキャンして画像データを得る処理 (S3) と、画像データを送信すべき受信者アドレスを設定する処理 (S5) と、この装置 1 を特定する送信元アドレスに代えて送信者を表す送信者アドレスを設定する処理 (S8, S10) とは、任意に順序を入れ替えても良い。

【0069】

また、この実施形態では、スキャナ装置 1 を特定する送信元アドレスは、送信者を表す送信者アドレスによって置き換えられるものとした。しかしながら、スキャナ装置 1 を特定する送信元アドレスは、メール本文の内容に含めて、別途受信者へ知らせるようにしても良い。

【0070】

【発明の効果】

以上より明らかなように、この発明のネットワークスキャナ装置およびその画像データ送信方法によれば、画像データ送信の操作をした人が、それに対する返信メールやエラーメールを容易に利用できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 この発明の一実施形態のスキャナ装置の外観を示す斜視図である。

【図 2】 上記スキャナ装置の制御系の構成を示すブロック図である。

【図 3】 上記スキャナ装置が設置されたネットワーク環境を示す図である。

【図 4】 上記スキャナ装置の操作パネルを示す図である。

【図 5】 上記スキャナ装置における送信者登録画面を例示する図である。

【図 6】 上記スキャナ装置における送信者選択画面を例示する図である。

【図 7】 上記スキャナ装置における確定した送信者設定画面を例示する図

である。

【図 8】 上記スキャナ装置における、送信者アドレスが入力されつつある送信者設定画面を例示する図である。

【図 9】 上記スキャナ装置における、使用者を表す ID によって呼び出された送信設定画面を例示する図である。

【図 10】 上記スキャナ装置における、使用者を表す ID の入力を促す画面を例示する図である。

【図 11】 上記スキャナ装置における宛先登録画面を例示する図である。

【図 12】 上記スキャナ装置における送信段階の制御フローを示す図である。

【図 13】 上記スキャナ装置から受信者側サーバへの送信経路で何らかの障害があった場合の、エラーメールの送信経路を示す図である。

【図 14】 受信者の端末における受信履歴画面を例示する図である。

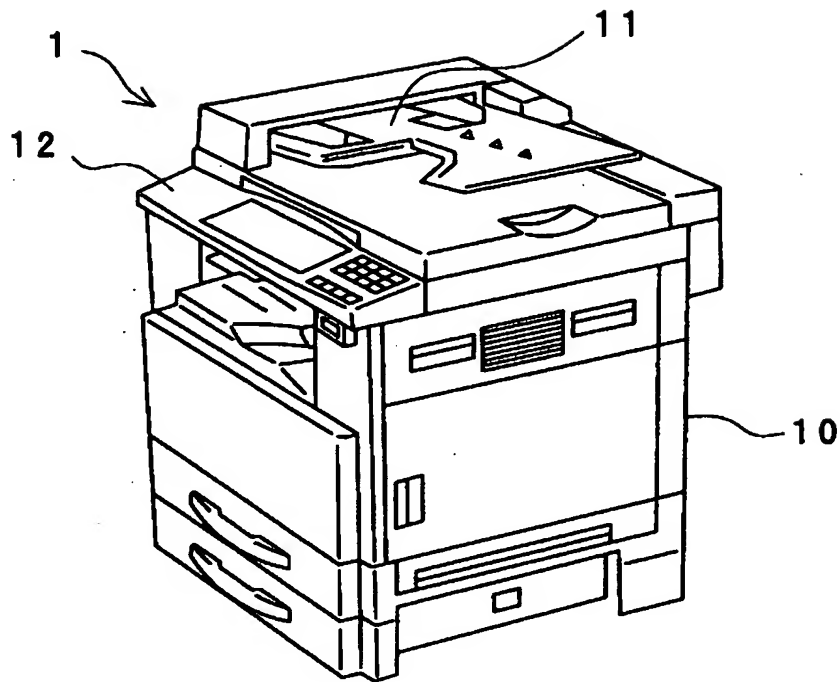
【符号の説明】

- 1 スキャナ装置
- 4, 6, 104 LAN
- 5 インターネット／イントラネット
- 12 操作パネル
- 21 主制御部
- 22 操作／表示部
- 23 記憶部
- 24 読取部
- 25 画像メモリ
- 26 通信部

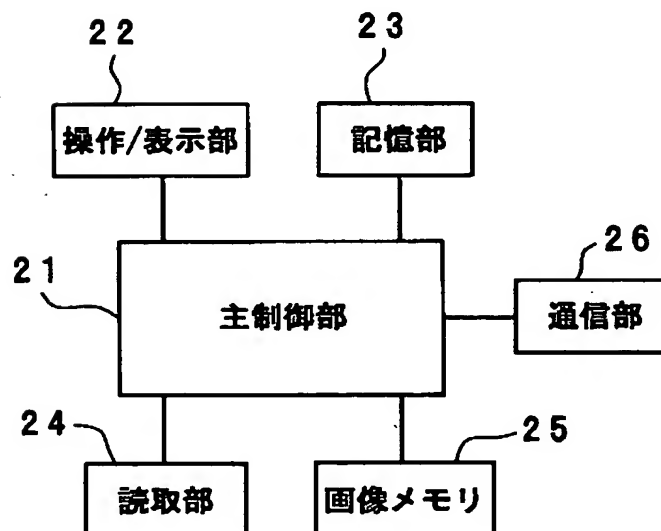


【書類名】 図面

【図 1】

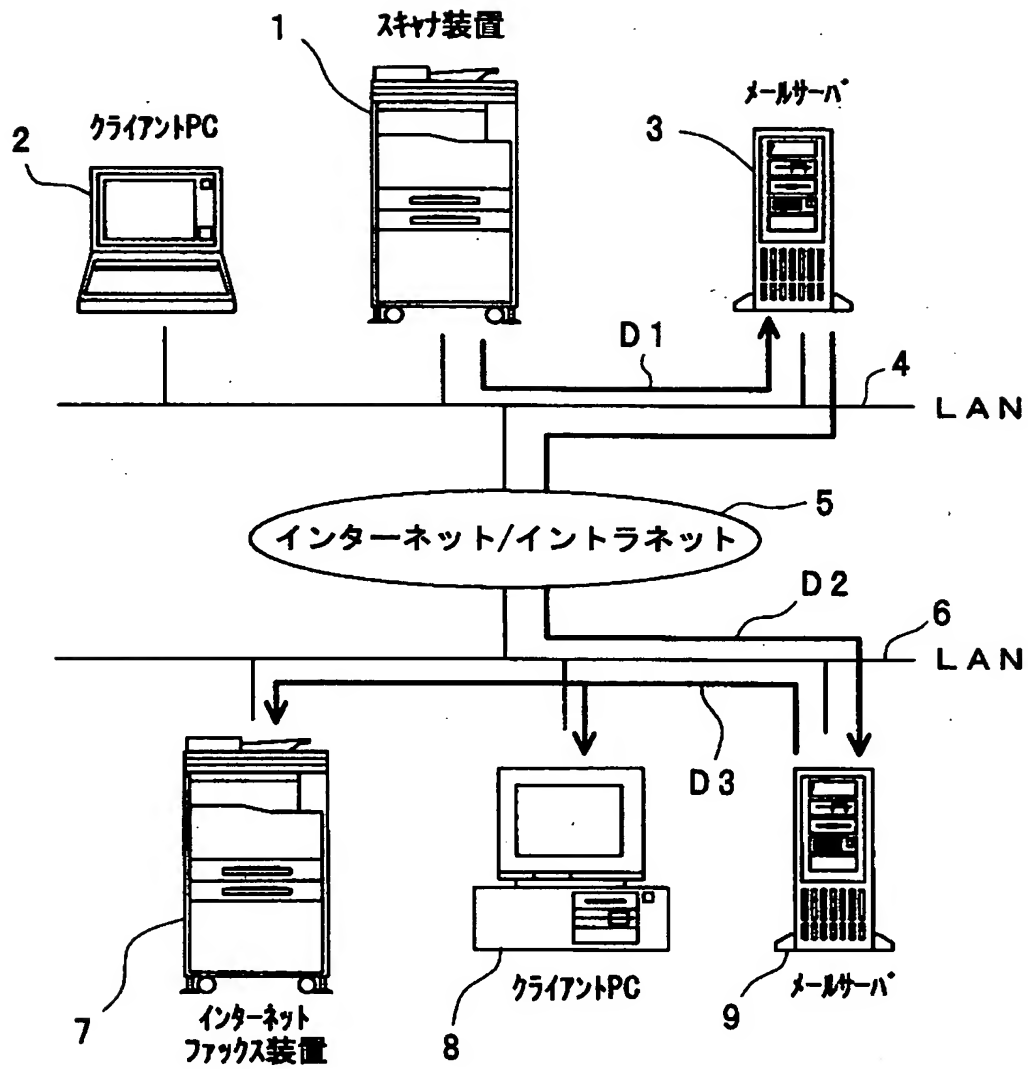


【図 2】



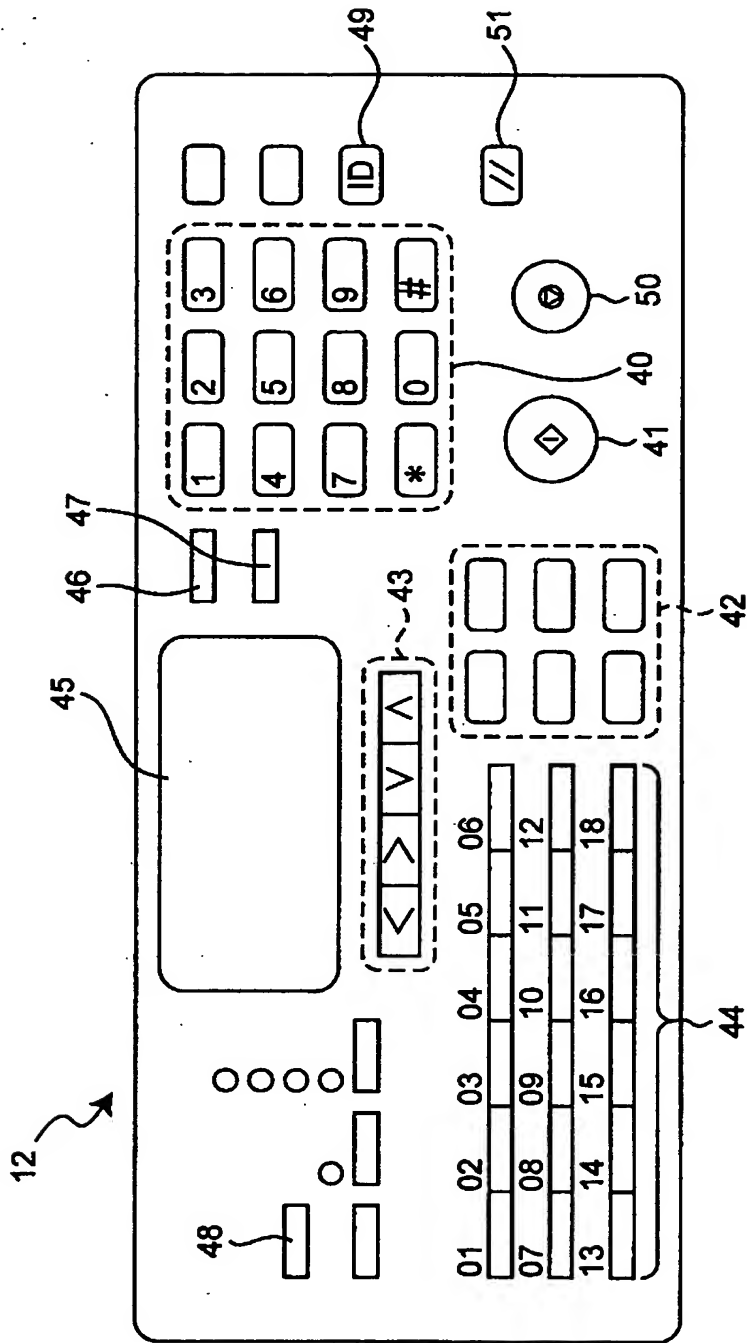
DIST. AVAILABLE COPY

【図 3】



BEST AVAILABLE COPY

【図 4】



LIST AVAILABLE ONLY

【図 5】

送信者登録	
送信者名	〇〇株式会社
メールアドレス	mfp@abc.def.com
メールタイトル	from TOKYO

【図 6】

送信者選択		
No.	送信者名	送信者アドレス
	MFP1	mfp1@aaa.def.com
1	MFP1	mfp1@aaa.def.com
2	Suzuki	suzu@bbb.def.co.jp
3	Yamada	yamada@abcjx.com
4	Sato	satou@gesfgh.co.jp

BEST AVAILABLE COPY

【図 7】

送信設定	
SMTPサーバアドレス	150.150.1.100
送信者名	〇〇株式会社
メールアドレス	mfp@abc.def.com
メールタイトル	from TOKYO

【図 8】

送信設定	
SMTPサーバアドレス	150.150.1.100
送信者名	〇〇株式会社
メールアドレス	mfp@abc_
メールタイトル	納品案内

BEST AVAILABLE COPY

【図9】

送信設定	
送信者名	〇〇株式会社
メールアドレス	mfp@abc.def.com
メールタイトル	納品案内
使用者ID	1234

【図10】

ID入力
アクセスIDを入力してください
ID=12_

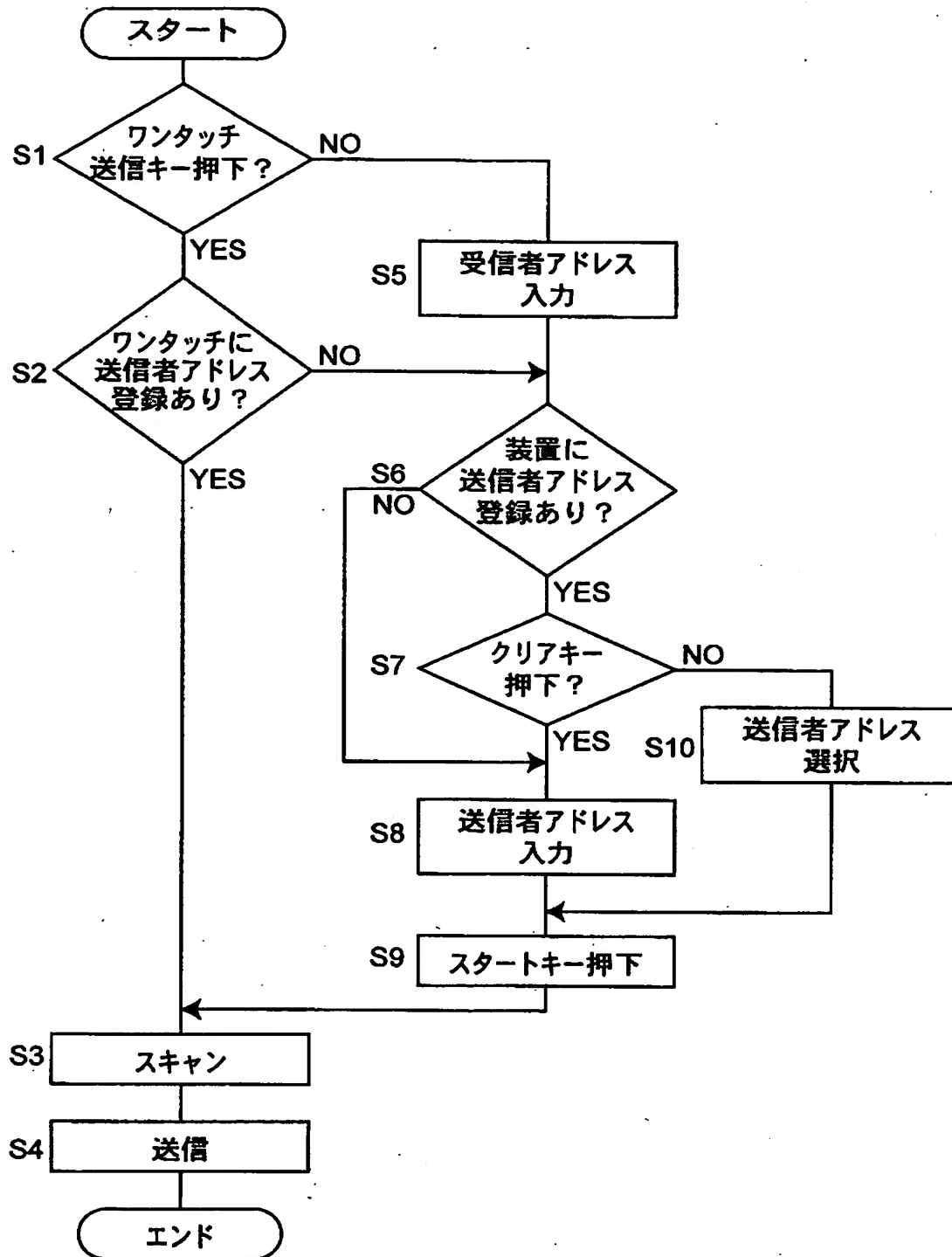
BEST AVAILABLE COPY

【図11】

宛先登録	
受信者名	〇〇(株)東京支店
受信者アドレス	mfp@xyz.ffri.co.jp
送信者名	△△株式会社
送信者アドレス	mfp@abc.wrq.com
メールタイトル	from MFP

BEST AVAILABLE COPY

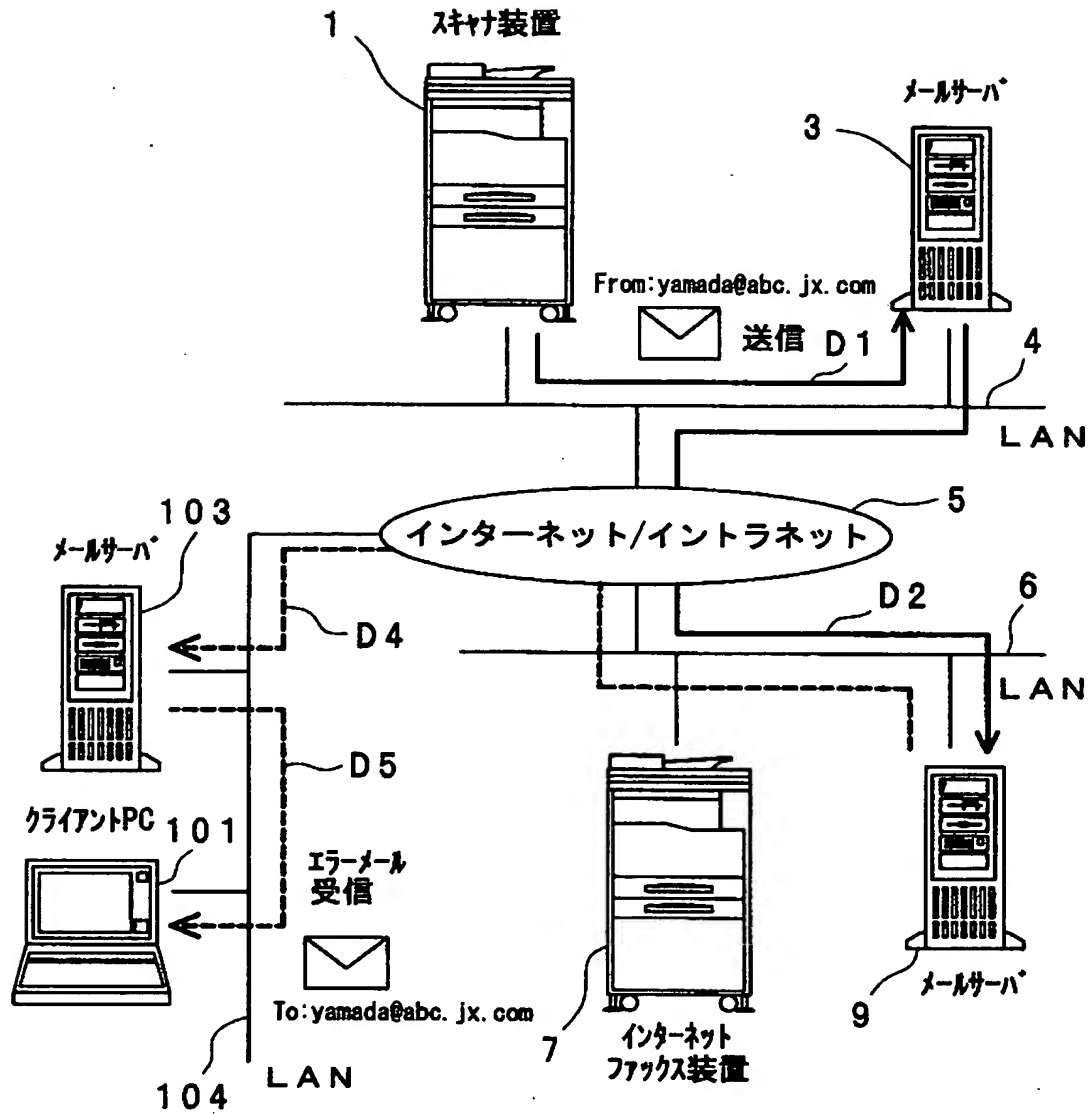
【図 12】



BEST AVAILABLE COPY



【図 13】



BEST AVAILABLE COPY

【図 14】

受信履歴

No.	送信者アドレス	件名
1	mfp1@aaa.bar.com	from MFP
2	suzu@bbb.def.co.jp	打合せの件 納品案内
3	yamada@abc.jx.com	
4	satou@sida.co.jp	

詳細

返信

メニュー

BEST AVAILABLE COPY

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 画像データをネットワークを介して送信するネットワークスキャナ装置であって、画像データ送信の操作をした人が、それに対する返信メールやエラーメールを容易に利用できるようなものを提供すること。

【解決手段】 原稿をスキャンして画像データを得る読取部を備える（S 3）。画像データを送信すべき受信者アドレスを設定する第 1 設定手段（S 5）を備える。このネットワークスキャナ装置を特定する送信元アドレスに代えて送信者を表す送信者アドレスを設定する第 2 設定手段（S 8，S 1 0）を備える。画像データを、設定された送信者アドレスを付加して、設定された受信者アドレスへ向けて送信する制御を行う送信制御手段（S 4）を備える。

【選択図】 図 1 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006079]

1. 変更年月日 1994年 7月20日

[変更理由] 名称変更

住 所 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号 大阪国際ビル  
氏 名 ミノルタ株式会社